

2015年12月期 第2四半期決算説明会

2015年8月20日
藤田観光株式会社
(証券コード：9722)

本日の説明内容（目次）

【Ⅰ】 2015年12月期第2四半期業績	P1	【Ⅲ】 通期業績予想および下期取組み	P17
1. 上期損益計算書	P2	1. 通期計画数値（全体）	P18
2. 上期売上高・営業利益構造	P3	2. 通期計画数値（セグメント別）	P19
3. 上期貸借対照表・キャッシュフロー計算書	P4	3. セグメント別下期施策（WHG事業）	P20～21
4. セグメント別上期売上高	P5	4. セグメント別下期施策（リゾート事業）	P22
5. セグメント別上期営業利益	P6	5. セグメント別下期施策 （ラグジュアリー＆バンケット事業）	P23
【Ⅱ】 セグメント別上期状況	P7	6. 株主還元	P24
1. セグメント別上期状況（WHG事業）	P8～10	【Ⅳ】 参考資料	P25
2. セグメント別上期状況（リゾート事業）	P11～13	1. 会社概要	P26
3. セグメント別上期状況 （ラグジュアリー＆バンケット事業）	P14～16	2. 施設一覧	P27
		3. 中期経営計画について（2015年～2019年）	P28
		4. 計画数値（全体）	P29
		5. 計画数値（セグメント別）	P30
		6. 新規開業予定施設	P31～32

【 I 】 2015年12月期第2四半期業績

上期損益計算書

売上高、営業利益とも予想比大幅増加

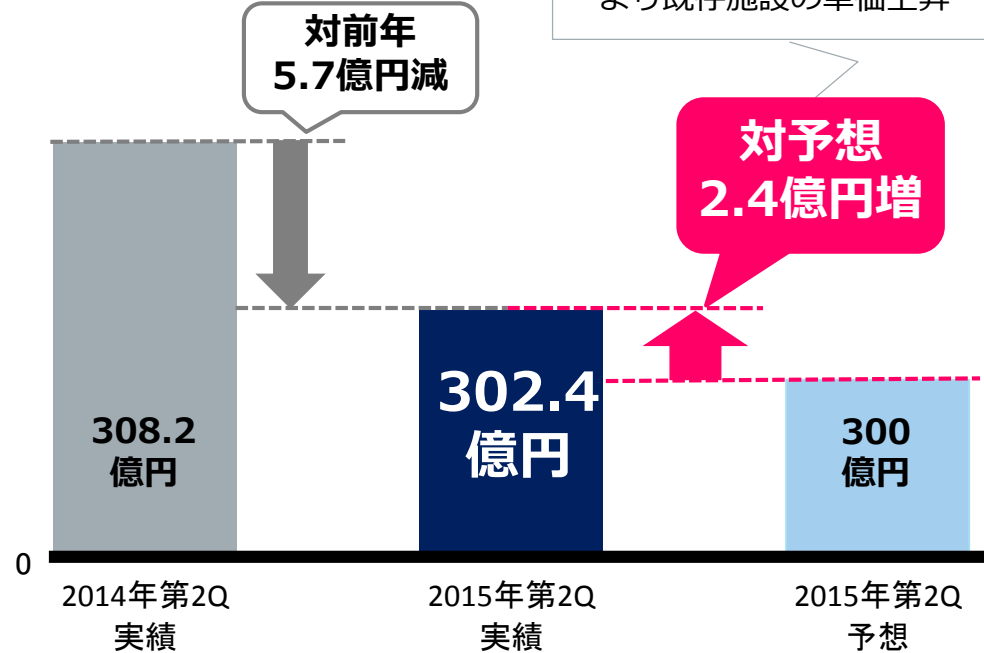
単位：億円	2015/12	2014/12	前年比	2015/12	予想比
	第2Q実績	第2Q実績		第2Q予想	
売上高	302.4	308.2	▲5.7	300	2.4
営業利益	▲8.4	▲0.7	▲7.7	▲17	8.5
減価償却費等負担前営業利益	15.3	21.5	▲6.2	8	7.3
経常利益	▲8.3	▲0.9	▲7.4	▲18	9.6
四半期純利益	▲8.2	▲2.5	▲5.6	▲15	6.7

上期売上高・営業利益の前年および予想対比

売上高

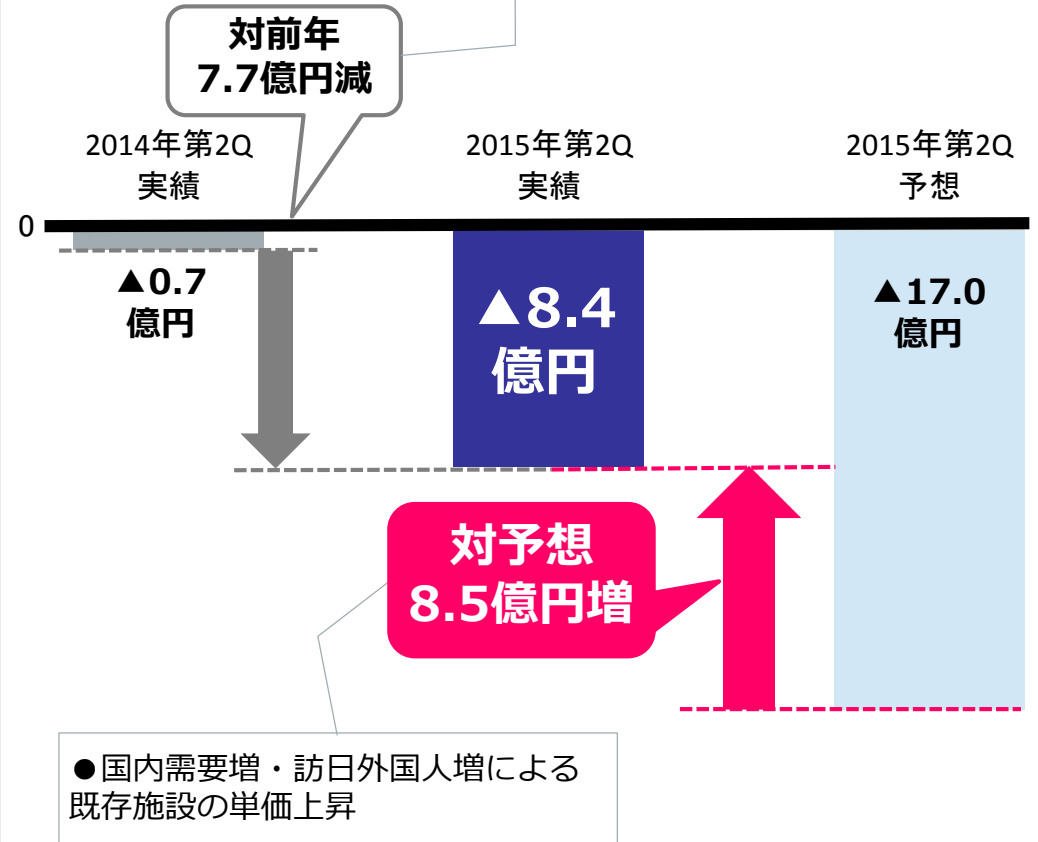
- 全株式取得の「かわの」、ホテルグレイスリー開業による増収
- 事業所閉館（京都国際ホテル・箱根小涌園ユネッサンイン）
- 新宿ワシントンホテル工事による稼働減

- 国内需要増・訪日外国人増により既存施設の単価上昇



営業利益

- 新規事業所開業費用（ホテルグレイスリー新宿・箱根新宿泊施設）
- 新宿ワシントンホテル工事による稼働減
- 箱根の火山性地震による集客減、婚礼件数の減少による減益



- 国内需要増・訪日外国人増による既存施設の単価上昇

上期貸借対照表・キャッシュフロー計算書

固定資産の増加

単位：億円、%	2015/12	2014/12	
	第2Q実績	実績	対前年
総資産	1,063.6	1,008.8	54.7
純資産	290.6	277.7	12.8
有利子負債	447.3	374.6	72.7
自己資本比率	27.1%	27.3%	▲0.2%

単位：億円	2015/12	2014/12	
	第2Q実績	第2Q実績	対前年
営業キャッシュフロー	▲19.0	7.4	▲26.5
投資キャッシュフロー	▲64.3	▲19.2	▲45.0

セグメント別上期売上高

WHG事業が牽引し、予想比増収

単位：億円	2015/12	2014/12	前年比	2015/12	予想比
	第2Q実績	第2Q実績		第2Q予想	
W H G 事業	128.8	123.4	5.4	122.0	6.8
リゾー ト 事業	30.5	33.0	▲2.4	31.0	▲0.4
ラグジュアリー&バンケット事業	126.7	136.4	▲9.7	131.0	▲4.2
そ の 他	16.3	15.3	0.9	16.0	0.3
売 上 高 合 計	302.4	308.2	▲5.7	300.0	2.4

売上高 当初予想比

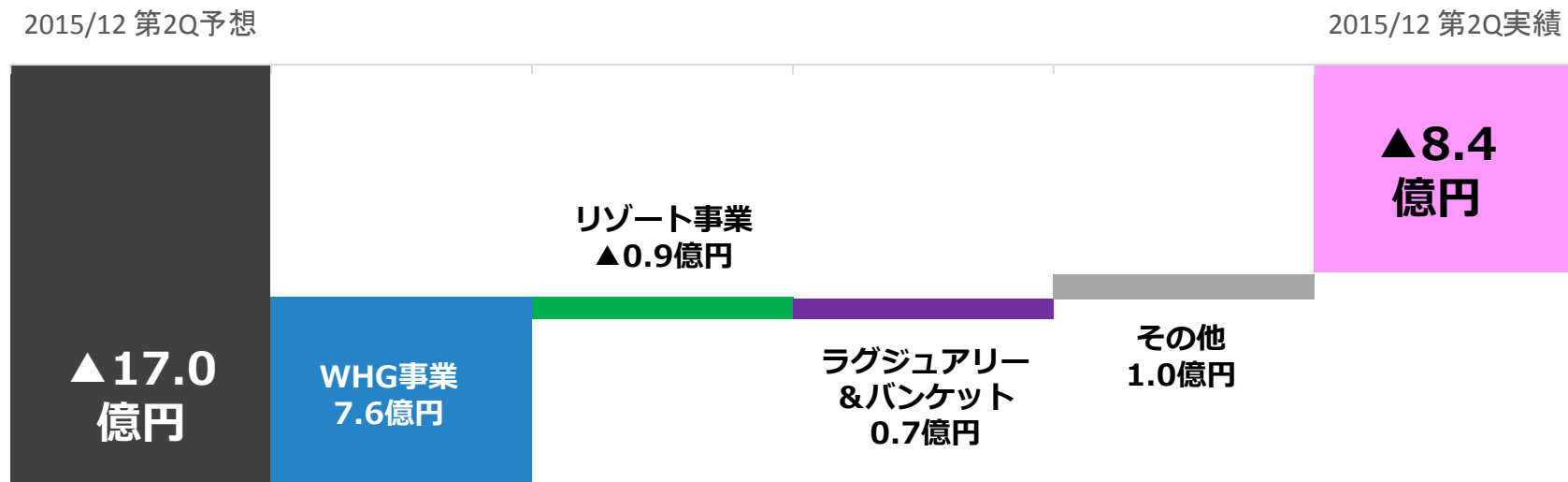


セグメント別上期営業利益

WHG事業が牽引し、予想比大幅増益

単位：億円	2015/12	2014/12	前年比	2015/12	予想比
	第2Q実績	第2Q実績		第2Q予想	
W H G 事業	▲0.3	1.3	▲1.6	▲8.0	7.6
リゾート事業	▲3.9	▲1.7	▲2.1	▲3.0	▲0.9
ラグジュアリー&バンケット事業	▲1.2	1.0	▲2.2	▲2.0	0.7
その他	▲2.9	▲1.3	▲1.6	▲4.0	1.0
営業利益合計	▲8.4	▲0.7	▲7.7	▲17.0	8.5

営業利益 当初予想比



【Ⅱ】セグメント別上期状況

セグメント別上期状況（WHG事業）

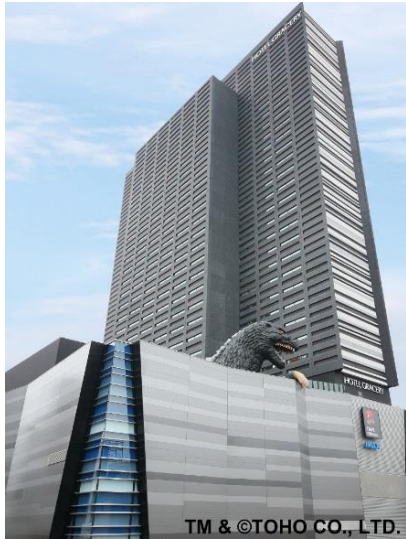
宿泊需要が増加し、特にHG新宿・新宿WHが好調

➤ 増加要因
 ➤ 減少要因

	2015/12 第2Q実績	前年比	主な要因	予想比	主な要因
売上高	128.8億円	5.4億円	➤ ホテルグレイスリー 新宿開業 ➤ 新宿ワシントンホテル 改装工事（4月～）	6.8億円	➤ ホテルグレイスリー 新宿好調 ➤ 既存ホテルの単価 上昇
営業利益	▲0.3億円	▲1.6億円	➤ ホテルグレイスリー 新宿開業費用 ➤ 新宿ワシントンホテル 改装工事（4月～）	7.6億円	➤ ホテルグレイスリー 新宿好調 ➤ 既存ホテルの単価 上昇

セグメント別上期状況（WHG事業）

4月24日 ホテルグレイスリー新宿を開業



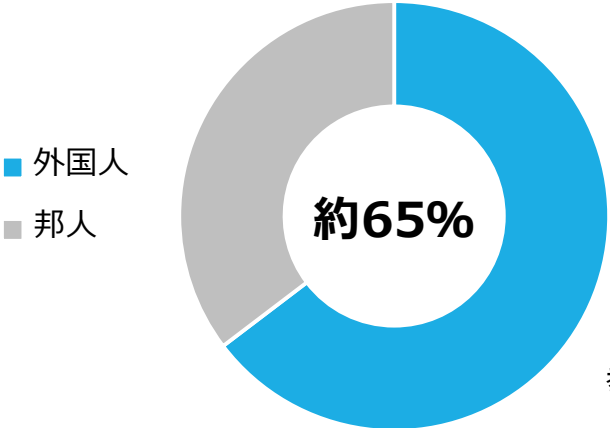
ホテルグレイスリー新宿

客室数：970室（最大総人員：1,674名）

◆特徴◆

- ・サービス向上のため、コンシェルジュサービスや外国人専用カウンター等を設置
- ・「東宝(株)」と連携し「ゴジラ」をテーマにしたPR活動の強化
- ・広めの客室や独立型バスルームで観光・レジャー客、インバウンドを中心に誘客を図る

4月～6月 インバウンド比率



◆稼働状況◆

4月～6月は、オペレーションを確立するため60～70%
⇒下期はフル稼働販売体制へ

◆インバウンド状況◆

FIT（個人の訪日外国人客）を誘客することにより、客室単価上昇に寄与

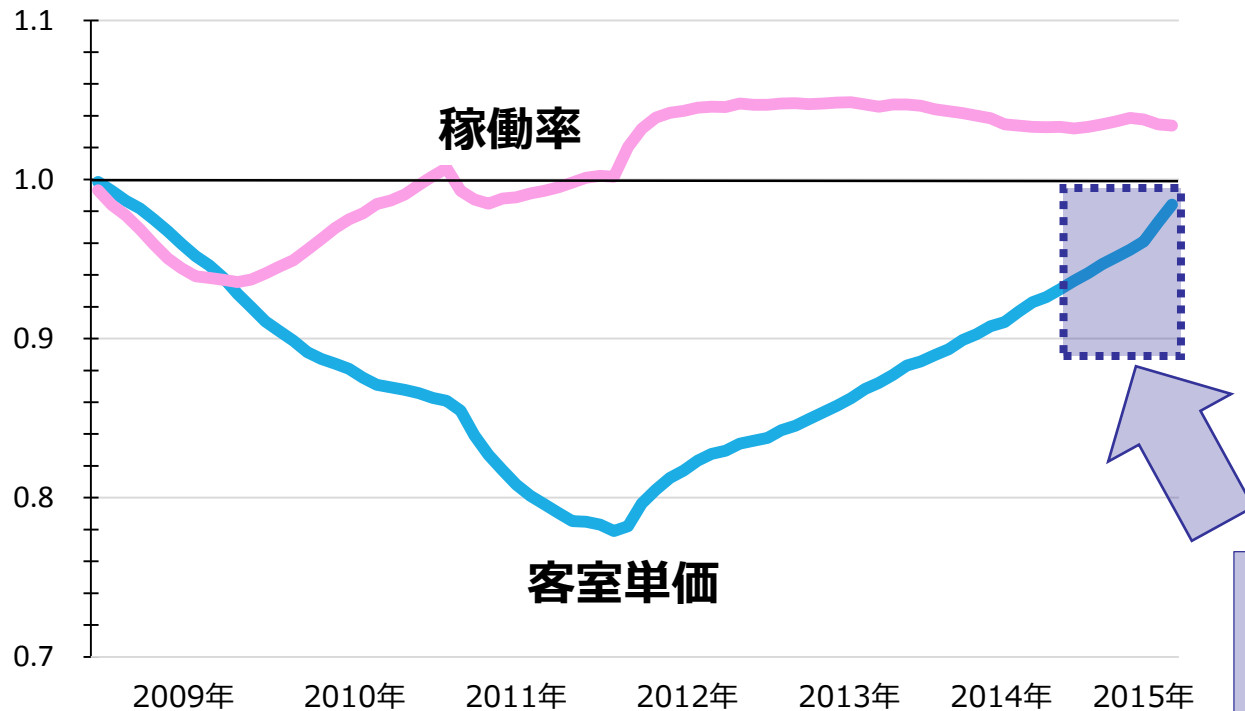
参考：改装前 新宿ワシントンホテル インバウンド比率約50%

セグメント別上期状況 (W H G 事業)

宿泊需要増による客室単価の上昇

◆稼働率・客室単価推移◆

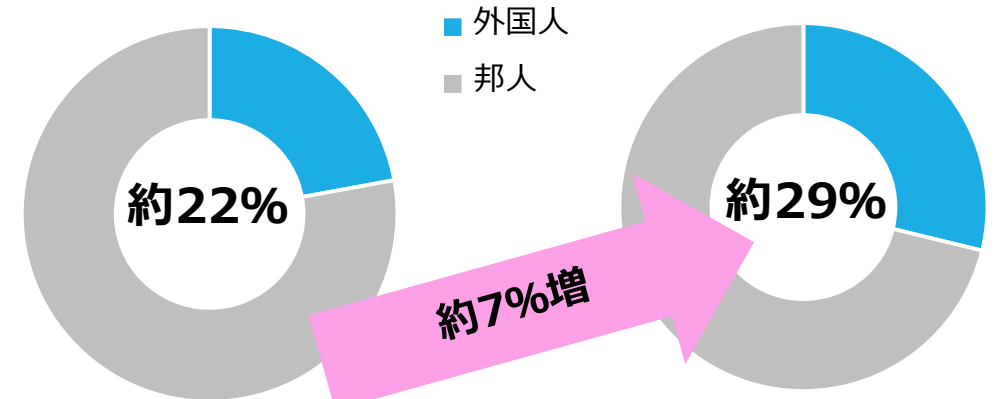
※2008年の年間累計を1とした移動平均推移



◆インバウンド比率◆

2014年上期

2015年上期



2015年上期 客室単価
前年同期比 約10%上昇

セグメント別上期状況（リゾート事業）

1月から4月までは宿泊好調、5月～噴火警戒の影響

➤ 増加要因
 ➤ 減少要因

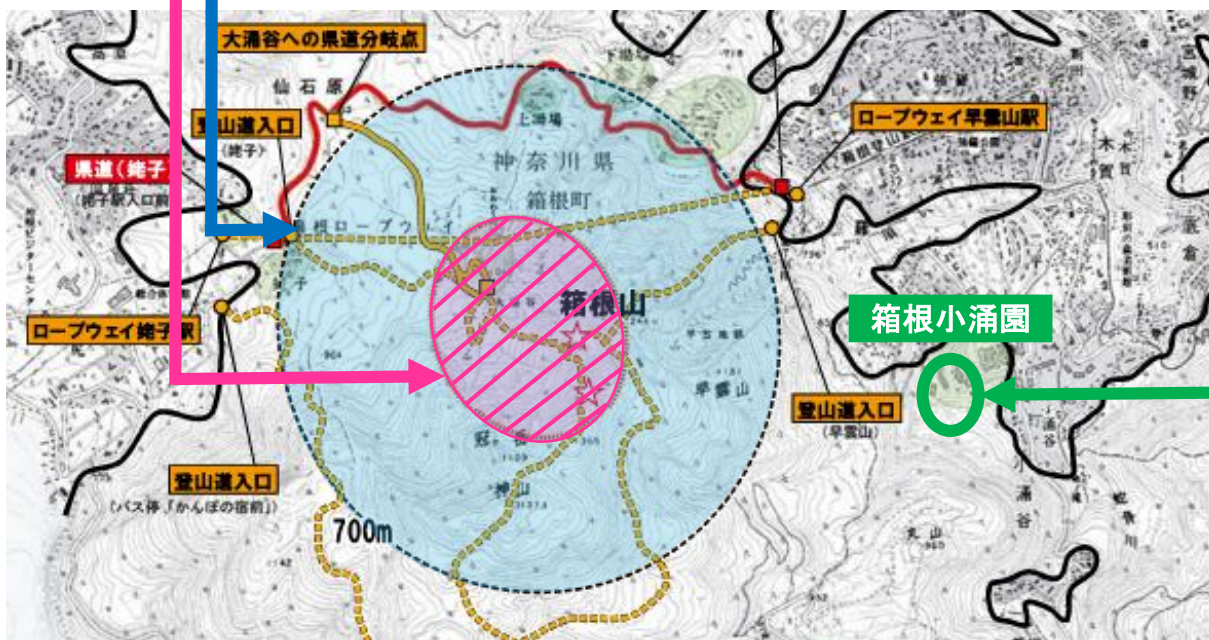
	2015/12 第2Q実績	前年比	主な要因	予想比	主な要因
売上高	30.5億円	▲2.4億円	➤ 箱根H小涌園の宿泊単価上昇（1～4月） ➤ 箱根小涌園1ヶ所閉鎖営業終了 ➤ 箱根山噴火警戒レベルの影響で集客減少（5月～）	▲0.4億円	➤ 箱根H小涌園の宿泊単価上昇（1～4月） ➤ 箱根山噴火警戒レベルの影響で集客減少（5月～）
営業利益	▲3.9億円	▲2.1億円	➤ 箱根山噴火警戒レベルの影響で集客減少（5月～）	▲0.9億円	➤ 箱根H小涌園の宿泊単価上昇（1～4月） ➤ 箱根山噴火警戒レベルの影響で集客減少（5月～）

セグメント別上期状況（リゾート事業）

施設運営への影響はなく営業を継続中

2015年5月6日 噴火警戒レベル2「火口周辺警報」（想定火口域周辺の立ち入り規制）

2015年6月30日 噴火警戒レベル3「入山規制」（想定火口域から700m程度以内の立ち入り規制）



火口中心部から2 km 以上離れた場所！！

箱根小涌園

(ホテル小涌園、ユネッサン、B&B パンション)

全施設において営業中

出典：気象庁WEBサイト：

http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/315.html

セグメント別上期状況（リゾート事業）

インバウンド誘客強化による販路の拡大

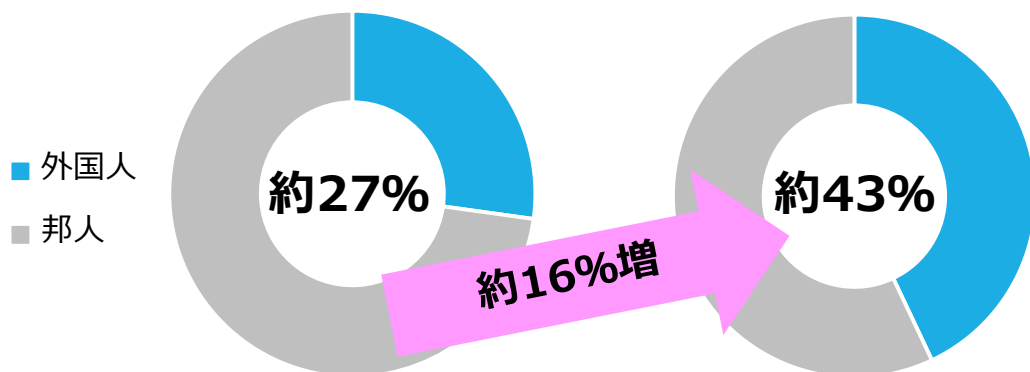
火山に対する対応

- ①対策本部を設置し、気象庁および箱根町等の発表情報に基づき適宜判断を行い、お客様の安全・安心を最優先に営業を継続。
- ②5月6日「噴火警戒レベル2」の引き上げ後、インバウンド誘客を強化。

◆インバウンド比率◆ 箱根ホテル小涌園（224室）

1月～5月累計

6月単月



セグメント別上期状況（ラグジュアリー&バンケット事業）

婚礼が苦戦も宿泊単価の増加により予想比増益

➤ 増加要因
 ➤ 減少要因

	2015/12 第2Q実績	前年比	主な要因	予想比	主な要因
売上高	126.7億円	▲9.7億円	➤ 「(株)かわの」による効果 ➤ 京都国際ホテル営業終了 ➤ ホテル椿山荘東京、 婚礼件数減 ➤ 同、レストラン好調	▲4.2億円	➤ ホテル椿山荘東京、 婚礼件数減 ➤ 同、レストラン好調
営業利益	▲1.2億円	▲2.2億円	➤ 「(株)かわの」による効果 ➤ 京都国際ホテル営業終了 ➤ ホテル椿山荘東京、 婚礼件数減 ➤ 同、レストラン好調	0.7億円	➤ ホテル椿山荘東京、 宿泊単価増 ➤ 同、レストラン好調 ➤ 固定費の圧縮

セグメント別上期状況（ラグジュアリー&バンケット事業）

「(株)かわの」(広島市) の全株式を取得



(株)かわの

事業内容：ブライダル関連事業（ブライダルコーディネイト他）、ゲストハウスの運営、ブライダル関連商品等小売
支店：マリーエイド / The South Harbor Resort（ゲストハウス） / ルメルシェ元宇品（ゲストハウス）

◆株式取得の狙い◆

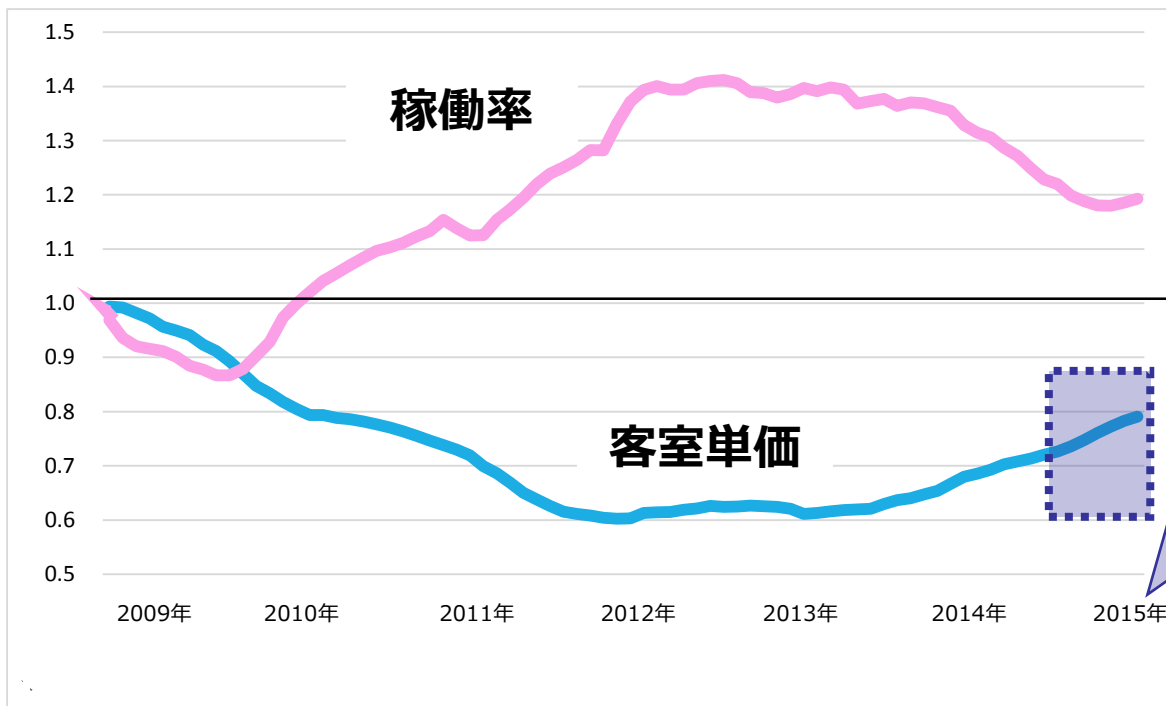
- ・ 地方都市における婚礼事業の参入
- ・ 「ブライダルプロデュース」のノウハウを習得し、婚礼事業の領域を拡大

セグメント別上期状況（ラグジュアリー&バンケット事業）

宿泊需要増加、客室改装の効果を受け、 ホテル椿山荘東京の客室単価が上昇

◆稼働率・客室単価推移◆

※2008年の年間累計を1とした移動平均推移



◆国内外の富裕層誘客強化策◆



2014年より3年間で全室（260室）の改装を実施

2015年上期 客室単価
前年同期比 **約18%上昇**

【Ⅲ】 通期業績予想および下期取組み

通期予想数値 (連結)

	2014/12 通期実績	2015/12 通期予想
単位：億円		
売上高	642.5	642
営業利益	13.6	▲13
減価償却費等負担前営業利益	59.9	40
経常利益	13.9	▲15
当期純利益	5.3	▲5
設備投資額(キャッシュベース)	36.0	140
減価償却費	37.7	40

通期予想数値（セグメント別）

単位：億円

	2014/12 通期実績	2015/12 第2Q実績	2015/12 通期予想	2/13発表 当初予想 ()
WHG事業	売上高 258.6	128.8	281	(262)
	営業利益 11.0	▲3.3	6	(▲10)
リゾート事業	売上高 75.9	30.5	61	(73)
	営業利益 3.7	▲3.9	▲9	(1)
ラグジュアリー& バンケット事業	売上高 275.8	126.7	268	(275)
	営業利益 1.6	▲1.2	▲1	(4)
その他および調整額	売上高 32.0	16.3	32	(32)
	営業利益 ▲2.8	▲2.9	▲9	(▲8)
合計	売上高 642.5	302.4	642	(642)
	営業利益 13.6	▲8.4	▲13	(▲13)

セグメント別下期施策（W H G 事業）

新宿ワシントンホテル（本館） 全客室1,297室を改装



工期：高層階（15階～24階）4月～9月
低層階（4階～14階）10月～2016年3月
内容：客室家具、絨毯、カーペット、
ユニットバスの一斉更新、EV更新、ロビー等改装
一部シングルルームをツインルームへ変更
（客室数1,297室⇒1,279室へ）
販売：8月よりリニューアルした高層階客室を順次販売

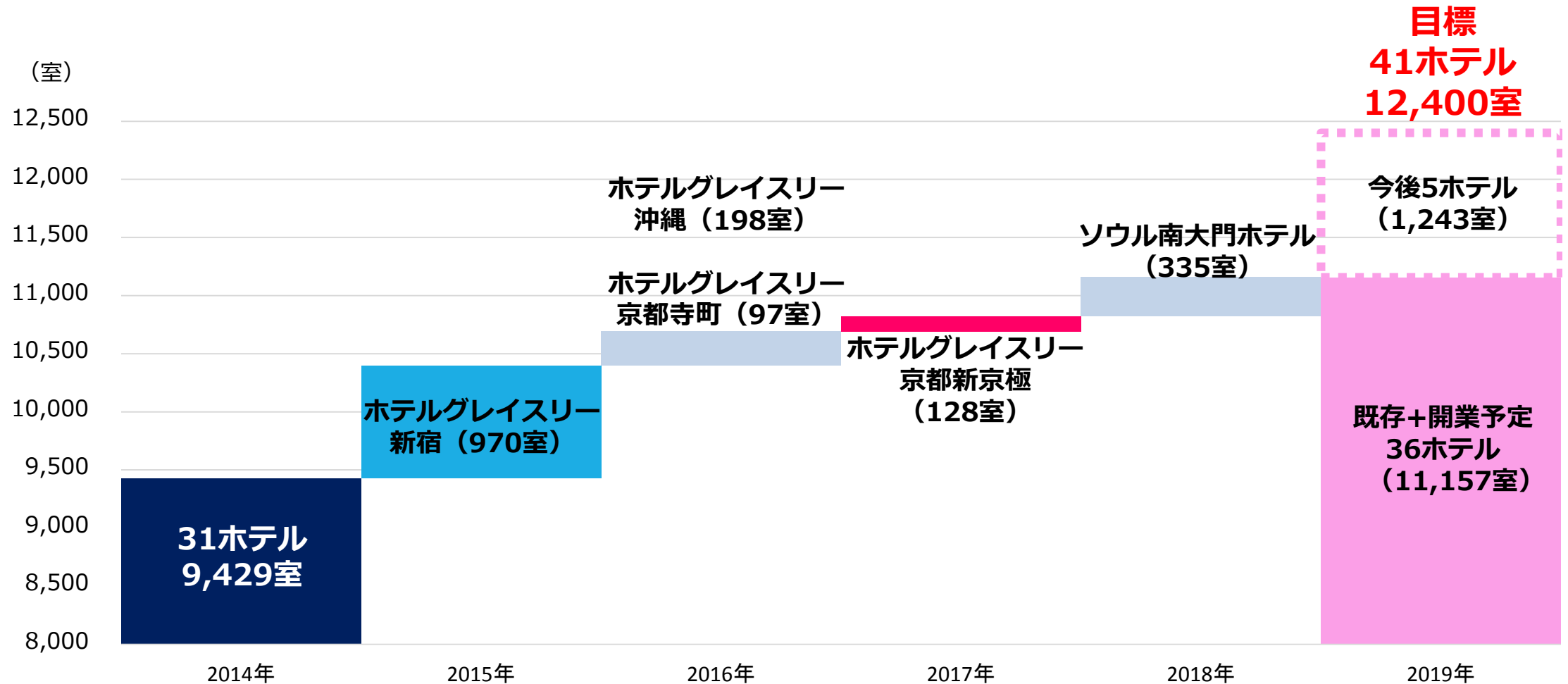
ホテルグレイスリー新宿 フル稼動販売体制へ



- ・7月よりフル稼動販売体制へ
- ・インバウンド（FIT）の更なる誘客

セグメント別下期施策（W H G 事業）

10ホテル・3,000室増加を目標に新規出店を加速



セグメント別下期施策（リゾート事業）

インバウンドの誘客強化



和装バーテンダーや色浴衣の貸し出しサービス等を実施

火山の影響による稼動減を補うために、インバウンド向けのイベントやプラン、サービスを充実し販路を拡大

コスト削減の推進



伊東小涌園



鳥羽ホテル小涌園

- ・ 繁忙期である他事業所（伊東・鳥羽）にヘルプを行い、スタッフの流動化を図る
- ・ お客様の動向に合わせ、一部レストラン店舗の営業時間短縮および営業を休止

セグメント別下期施策（ラグジュアリー&バンケット事業）

婚礼サロン 初の外部出店



婚礼に関する想いを叶える
「ホテル椿山荘東京 For wedding GINZA」

銀座4丁目（三越横）に打合せ用のサロンを出店し、お客様の利便性を向上（7月30日～）

客室改装の実施



落ち着きのあるクラシックなテイスト
「プライムクラシクルーム」

2014年より3年間で全客室（260室）を改装
第2期改装として62室リニューアル（7月6日～9月17日）

台北にて日本料理 レストランを出店



※写真はイメージです

ホテル椿山荘東京プロデュースによる
日本料理レストランを2015年末（予定）に初出店

「椿山荘」ブランドを広めるための施策として、「和のおもてなし」を提供（42席（予定））

株主還元

配当方針

株主の皆さまへの還元に必要な配慮をするとともに、企業体質の一層の強化と事業展開に活用する内部留保の蓄積も勘案のうえ、業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。

配当実績および予想

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015 (予想)
配当	5円	4円	4円	4円	4円	4円

【IV】 参考資料

会社概要

会社概要

設立年月日	1955年11月7日
資本金	12,081百万円
決算月	12月
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	9722
単元株式	1,000株
発行済株式数	122,074千株
株主数	15,461名
主な営業種目	ホテル・旅館業・飲食店業他
従業員数	1,226名 (期中平均有期雇用者数3,697名)

主な株主

株主名	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
DOWAホールディングス株式会社	38,143	31.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,455	4.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,241	4.38
常和ホールディングス株式会社	3,521	2.94
明治安田生命保険相互会社	3,008	2.51
三井住友信託銀行株式会社	2,428	2.03
日本生命保険相互会社	2,184	1.82
清水建設株式会社	1,842	1.54
アサヒビール株式会社	1,811	1.51
株式会社みずほ銀行	1,806	1.51

※自己株式 2,166千株／議決権総数 119,446個
(小数点第3位以下は切り捨てて表記)

(2015年6月30日現在)

施設一覽

WHG事業グループ

ホテル【客室：10,399室（開業予定+758室）】

藤田観光ワシントンホテル旭川
 仙台ワシントンホテル
 いわきワシントンホテル
 浦和ワシントンホテル
 秋葉原ワシントンホテル
 新宿ワシントンホテル本館
 新宿ワシントンホテル新館
 東京ベイ有明ワシントンホテル
 千葉ワシントンホテル
 横浜桜木町ワシントンホテル
 横浜伊勢佐木町ワシントンホテル
 関西エアポートワシントンホテル
 広島ワシントンホテル
 キャナルシティ・福岡ワシントンホテル
 長崎ワシントンホテル
 青森ワシントンホテル (FC)
 八戸ワシントンホテル (FC)
 鶴岡ワシントンホテル (FC)
 山形七日町ワシントンホテル (FC)
 山形駅西口ワシントンホテル (FC)
 会津若松ワシントンホテル (FC)
 郡山ワシントンホテル (FC)
 燕三条ワシントンホテル (FC)
 立川ワシントンホテル (FC)
 宝塚ワシントンホテル (FC)
 佐世保ワシントンホテル (FC)
 ホテルフジタ福井
 ホテルフジタ奈良
 ホテルグレイスリー札幌
 ホテルグレイスリー銀座
 ホテルグレイスリー田町
 ホテルグレイスリー新宿
 ホテルグレイスリー沖縄 (2016年春開業)
 ホテルグレイスリー京都寺町 (仮称) (2016年秋開業)
 ホテルグレイスリー京都新京極 (仮称) (2017年春開業)
 韓国ソウル南大門 新ホテル (2018年夏開業)

リゾート事業グループ

ホテル【客室：771室（開業予定+150室）】

箱根ホテル小涌園
 B&Bパシオン箱根
 伊東小涌園
 ホテル鳥羽小涌園
 由布院 緑涌 (りよくゆう)
 ホテルやまなみ
 十和田ホテル
 湯河原温泉ちとせ
 グリーンパル湯河原
 箱根新宿泊施設 (2017年春開業)

レストラン

箱根茶寮 椿山荘
 レストランあかしあ亭

レジャー

箱根小涌園ユネッサン
 箱根小涌園森の湯
 下田海中水族館

ラグジュアリー&バンケット事業グループ

ホテル【客室：382室】

ホテル椿山荘東京
 ホテルアジュール竹芝

婚礼・宴会

太閤園
 桜苑
 南青山CONVIVION
 The South Harbor Resort
 ルメルシェ元宇品
 マリーエイド

レストラン

シビックスカイレ스토랑椿山荘
 東京大学伊藤国際学術研究センター内レストラン
 明治大学 紫紺館 フォレスタ椿山荘
 エフエム東京 JET STREAM
 エフエム東京 CORNET
 台湾台北日本料理レストラン (2015年冬開業)

レジャー

カメリアヒルズカントリークラブ
 能登カントリークラブ

会員制リゾートホテル

ホテル【客室：460室】

ウィスタリアンライフクラブヴェルデの森
 ウィスタリアンライフクラブ箱根
 ウィスタリアンライフクラブ熱海
 ウィスタリアンライフクラブ宇佐美
 ウィスタリアンライフクラブ鳥羽
 ウィスタリアンライフクラブ野尻湖
 ウィスタリアンライフクラブプロミネント車山高原

海外現地法人・駐在員事務所

上海
 ソウル
 台北
 バンコク
 ジャカルタ

中期経営計画について(2015年～2019年)

「FUJITA PREMIUM VALUE CREATION 2015」 ～観光立国のリーディングカンパニーを目指して～

全体戦略

1. 多様な顧客ニーズを捉えた既存事業の付加価値向上と拡大
2. 増加する訪日外国人の誘客強化と海外展開
3. 多様な人材の育成と働きがいのある職場作り

各フェーズのイメージ		～2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年～
先行投資期	投資を積極的に前倒し							
回収期	収益安定化と拡大							
再成長期	新機軸の収益化							

The diagram illustrates the timing of three strategic phases:

- 先行投資期 (Advanced Investment Period):** Represented by a blue arrow starting at the beginning of the timeline and extending through 2014, 2015, and 2016.
- 回収期 (Recovery Period):** Represented by a blue arrow starting in 2016 and extending through 2017, 2018, and 2019.
- 再成長期 (Regrowth Period):** Represented by a blue arrow starting in 2018 and extending through 2019 and 2020.

計画数値（全体）

	2014/12 実績	2015/12 予想	2017/12 目標	2019/12 目標
単位：億円、%				
売上高	642.5	642	755	880
減価償却費等負担前営業利益	59.9	40	90	120
営業利益	13.6	▲13	28	53
経常利益	13.9	▲15	23	48
ROA（経常利益/総資産）	1.4	-	-	4%以上
ROE（当期純利益/純資産）	1.9	-	-	10%以上
設備投資額（キャッシュベース）	36.0	140	75	54
減価償却費	37.7	40	50	58
有利子負債	374.6	-	-	500億円以下

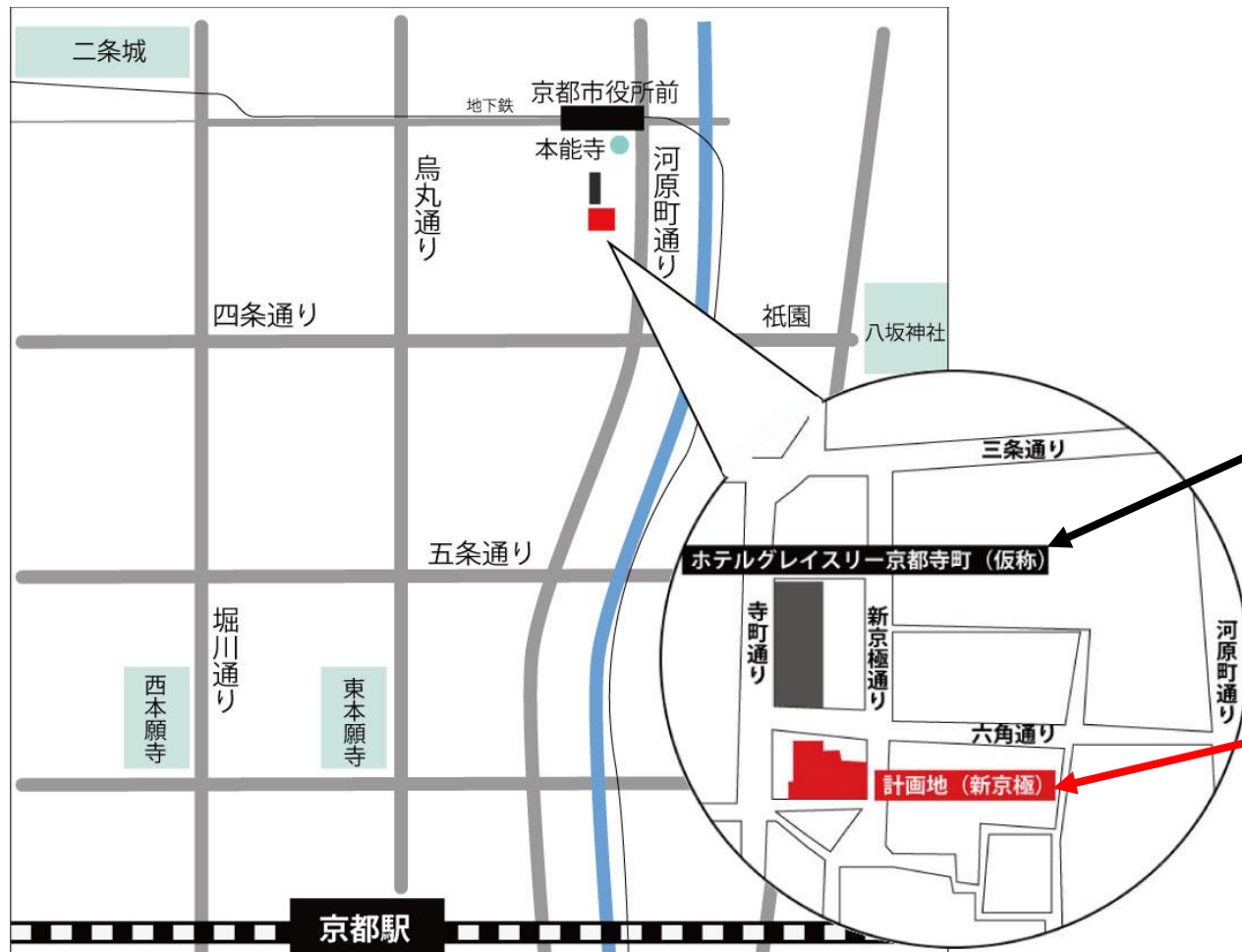
計画数値（セグメント別）

単位：億円

		2014/12 実績	2015/12 予想	2017/12 目標	2019/12 目標
WHG事業	売上高	258.6	281	319	376
	営業利益	11.0	6	14	23
リゾート事業	売上高	75.9	61	83	106
	営業利益	3.7	▲ 9	7	13
ラグジュアリー& バンケット事業	売上高	275.8	268	313	340
	営業利益	1.6	▲ 1	12	19
その他および調整額	売上高	32.0	32	40	58
	営業利益	▲ 2.8	▲ 9	▲ 6	▲ 3
合計	売上高	642.5	642	755	880
	営業利益	13.6	▲ 13	28	53

新規開業予定施設

ホテルグレイスリー京都新京極（仮称）開業決定



ホテルグレイスリー京都寺町（仮称）
2016年秋開業予定
（97室）

2017年春
「ホテルグレイスリー京都寺町（仮称）」の隣地に
全128室ツインルームのホテルを開業決定

新規開業予定施設

<2015年>

- ・台北日本料理レストラン（42席（予定））

<2016年>

- ・ホテルグレイスリー沖縄（198室）
- ・ホテルグレイスリー京都寺町（仮称）（97室）

<2017年>

- ・ホテルグレイスリー京都新京極（仮称）（128室）
- ・箱根小涌園 全室露天風呂付き宿泊施設（150室）

<2018年>

- ・ソウル南大門 新ホテル（335室）



ホテルグレイスリー沖縄（2016年春開業予定）



箱根新宿泊施設（2017年春開業予定）



ソウル南大門新ホテル（2018年夏開業予定）

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画グループ広報担当

小宮山 ・ 真田 ・ 北原

TEL : 03-5981-7703

Mail : h-koho@fujita-kanko.co.jp

注意事項 :

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また、注記を行っている場合を除き、2015年6月30日現在のデータに基づいて作成しております。

尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。

当資料の転載はご遠慮ください。